

おお大勝利

平成 21 年度山東サッカー部報第 17 号 (9 月 16 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

地区新人 薄氷を踏む3位

9月12日(土)、13日(日)の両日、地区新人戦が行われました。県新人への村山地区の出場枠は5つで、県総体の9つに比べ狭き門の地区新人。それだけ激戦が繰り広げられること必至でした。4つのトーナメントにそれぞれ4チームいて(3チームの山が一つ)、トーナメントで1位になりますとその時点で県大会出場が決定するシステム。地区大会は1日2試合なので、初日に2連勝すると県大会に出場できる(もし第2試合で敗れても、2日目の第5代表決定トーナメントで1位になると出場決定)。もちろん初日の2連勝を目指して大会に臨みました。

山東の初戦の相手は天童高校。今夏の月山合宿の最終日、山東と入れ替わるように月山で合宿に入った天童高校と練習試合をしましたが、その経験を活かすことができるかどうか。緩まず勝ち切ることを目標に選手を送り出しました。前半、得点を焦る攻撃陣が敵ゴール前でミスを重ね、早々に千葉の得点で試合を優位に進めたものの、得点は2点止まり。後半、メンバーを入れ替えつつ点を加えることを期待するが、ゲームを支配している状況で得点の確率の最も高い選択肢を作り出してそれに託す戦い方に慣れていないため、ボール支配率に比してさびしいチャンスメイク。後半の中盤から藤盛が立て続けにゴールを決め、結局7-0で試合を終えるが、個人の力に頼って何とかしただけの、チームとしての戦い方が見えてこない内容は否めず。FWとMFの連携、アウトサイドの選手同士の連携など、夏を通じて課題としてきたことができませんでした。

次戦の相手は山形城北戦。県新人の切符を取るために勝ちが必要な戦いですが、内容も求めたいところ。序盤、山東の攻撃陣は好調で、アウトサイドで数的優位を作り、攻め込む。右サイドをえぐって攻めたそんな形から、早々にネットを揺らし幸先良い先制。その後もやや山東ペースで試合が続くが、スピードあふれるFWと右アウトサイドMFのスピードを活かした縦に速い攻撃で城北もカウンターを仕掛ける。追加点を取って早く試合を楽にしたい状況の中、最終ラインのクリアを山東DFが敵に当ててしまい、その跳ね返りのボールを得た城北FWがドリブルの突破を仕掛ける。山東DFは挟み込んでボールを奪おうとするが、その両者の間をまんまとぶち抜かれ、そのFWは楽々フィニッシュ。ニアサイドながら「GKが動けない」ファインシュートが決まり、同点(たとえ入れられたとしても、動いてほしいものです)。内容は悪くないだけに、前半のうちに突き放しておきたい。そんな風に思っていると、左アウトサイドMFの嶋貫が、なかなかボールが左まで渡らない状況にじれったいと思ったか、中央付近に走り出す。その判断が功を奏し、右サイドからスルーパスを受け、GKとの

1対1。それを左足で巻きながらサイドネットに流し込む冷静なシュートで追加点（山東サッカーOB会のHPの写真でその巻き具合を確認ください）。前半を2 - 1で折り返す。

ところが後半、城北のミドル3rdでのプレスに山東の攻撃が封じられ、高い位置で起点を作れない展開となる。中盤でのねじりあいからお互いに前線へと早めにボールを送り込む大味な展開が続く。そんな中、山東の選手が要警戒の敵FWにゴール前でボールをプレゼントする大失態を演じてしまう。DF三澤は主将としての責任感あふれるスライディングを敢行するも、冷静にかわされ、そのまま決められてしまう。再び同点に追いつかれてしまう。その後は、HP編集長殿お気に入りの選手直弘の「必殺のスルーパス」（HP）が飛び出すも、決めきれず、そのままPK合戦に突入。30分ハーフの即PKという時間短縮の大会規定。顧問としてはいつも通りの、上級学年で固めたキッカーの選考。これ、私の恩師の作戦なんです（私の恩師が前に下級生の中心選手にPK合戦のキッカーを任せるところ外してしまい、結果として先輩は引退、その選手を精神的に追い込んでしまったという経験から、導き出された作戦）。予定の作戦とはいえ、誰かは外すだろうと思って見ていましたが、しっかり決め、しっかり県大会の切符をゲット。二日目、順位決定トーナメントに向かうことができました。

二日目の相手は、本当によく当たる相手、日大山形。ほぼ同じメンバーでYリーグ1部を突っ走っている。アタッカーに良い選手がそろっており、伝統のロングパス主体の攻撃ながら、高い位置で起点を作った後はさまざまな攻撃のバリエーションを持つ。現在の山東の力がどのくらいか測るには、うってつけの相手。序盤、日大相手だといつも押し込まれるのだが、そこそこ踏ん張っている。左サイドからドリブル突破を仕掛けるなど、いつもよりは良い試合の入り。しかしその後は、セカンドボールへの反応、競り合いにおける厳しさで勝る日大が押し込む。何度か日大のCKがあり、山東もがんばって跳ね返していたがCKからとうとう失点、前半を0 - 1で折り返す。

そこから崩れず試合を作ることができるか、敵の圧力をかわすつなぎができるかが問われた後半。やはり日大が押し込む展開。山東は中盤で時間をかけすぎて引っ掛けたり、FWが孤立したりする展開が目立ち、有効な攻めにならない。そんな中、山東GKの触ったこぼれ球がゴール前に転がり、山東DFがあわててクリアしようと足を出す。それに対して勇敢に頭から突っ込んだ日大FW！敵ながらあっぱれなプレーは日大にPKをもたらし、2 - 0。その後、山東はFKからの三澤の執念のダイビングヘッドなどの見せ場を作りましたが、日大に終始押された試合はそのままタイムアップ。地区新人は3位となりました。

力の違いを見せ付けられた悔しい敗戦。23日にはYリーグでの対戦が待っています（その前に9月21日の山商戦があります）。今回と逆の内容、結果を勝ち取ることができるよう、がんばります。たくさんのOBの方々、保護者の方々、そして保護者OBの皆様の応援を頂戴しました。ありがとうございました。

選手権 県新人 組み合わせ決まる！！

別紙のように、組み合わせが決まりました。選手権の試合の場所は後日お知らせします。応援よろしく願いいたします。